

わが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移に関する調査の今後について

公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団
環境経営企画グループ

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、2002 年から四半世紀にわたり、「わが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移」と題した調査を実施し、国内におけるカーシェアリングの普及状況を継続的に把握・公表してまいりました。

調査開始当初の 2002 年には、国内のカーシェアリング事業は貸渡車両数 21 両、会員数 50 人という規模でしたが、2026 年には貸渡車両数 85,312 両、会員数 5,391,855 人に達するなど、大きな発展を遂げています。このような状況を踏まえ、当財団が長年にわたりカーシェアリング車両台数及び会員数の推移を調査・公表してきたことについては、一定の役割を果たすことができたものと考えております。

また近年では、レンタカー事業のサービス形態が多様化し、オンライン予約や短時間利用、無人貸渡しなどの仕組みが広く普及しています。その結果、カーシェアリング事業は法制度上レンタカー事業の一形態であるものの、一般的なレンタカー事業とのサービス上の差異は次第に小さくなっています。

さらに、MaaS（Mobility as a Service）の進展や将来的な自動運転技術の導入など、モビリティ分野を取り巻く環境が大きく変化している中で、当財団がカーシェアリングのみを対象とした本調査について継続する意義を見出しにくい状況があります。

加えて、近年は下記のとおり民間事業者による市場動向調査や情報発信も充実してきております。これらの状況を総合的に勘案し、当財団が実施してまいりました「わが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移」調査につきましては、2026 年 3 月調査をもって終了することといたしました。

これまで長年にわたり本調査にご協力いただきましたカーシェアリング事業者、関係団体の皆様をはじめ、ご助言をいただきました国土交通省及び一般社団法人全国レンタカー協会のご担当者の皆様に、心より御礼申し上げます。また、カーシェアリングステーション設置状況の公表等にご協力いただきましたカーシェア・マップ株式会社様にも深く感謝申し上げます。

【参考】民間事業者によるカーシェアリング市場動向調査

1. カーシェア・マップ

「リサーチセンター」において、主要事業者のステーション数や車両台数を都道府県別・市区町村別に毎月集計・公表しています。

<https://carsharemap.jp/info/research/>

2. カーシェアリング比較 360°

「カーシェアリング市場動向」において、四半期ごとに主要事業者のステーション数や車両台数の推移、業界の主要トピックス等を取りまとめています。

<https://www.carsharing360.com/market/>